

1年 <つかむ> 1 / 4

(1) 本時のねらい

2年生の音読発表を聞いて、昔話に興味をもつことができる。

(2) 準備

「おはなしにつき」 たんけんバック 鉛筆 色鉛筆 1本

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2年生の音読発表を聞いて、感想を発表しよう</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2年生の音読発表が楽しみだな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">読み聞かせを聞いたら、お話を聞いて面白いな、好きだな、びっくりしたななど、自分の思ったことを2年生に伝えよう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「おはなしにつき」は、感想を発表した後に書くのだな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">「おはなしにつき」には、思ったことを書いて、お気に入りポイントをつければいいのだな。</div>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話を身近に感じることができるよう、2年生との交流を位置付け、2年生担任とTTで行う。 ・2年生のグループ数に合わせて、グループ分けをし、グループごとに座らせるなど、場の設定をする。 ・2年生のめあてを受けて、1年生にめあてをつかませ、意欲をもたせる。 ・音読発表後、感想を発表したり質問をしたりすることを事前に知らせておくことで、注意して聞けるようにする。 ・「おはなしにつき」の書き方について説明する。
<p>2 昔話の音読発表を聞いて、感想を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「かちかち山」で、泥の舟が沈むところが面白かったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ポチが死んでしまったところは、悲しかった。でも、花が咲いたとき、よかったって思った。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">うらしまたろうの歌を知っているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">金たろうって、力持ちだな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">寝ながらいろいろなことを考えていたねたろうは、すごい。</div> 	30	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の挿絵や紙芝居、ペープサート等を用いるグループも考えられるため、2年生のパピリオン形式での発表を見るという視点でも配置に工夫する。 ・一人一人の発表を大切に扱うことで、発表しやすい雰囲気作りに努める。 ・発表してくれた2年生と感想を交流することで、昔話に対する2年生の思いを感じ、昔話を身近に感じられるようにする。 ◎2年生が音読発表してくれた昔話の「おはなしにつき」をつける際、発表した2年生の助言を得ることで、思ったことを書けるようにする。 ◎発表に集中できない児童や感想を発表できない児童に、支援を行う。
<p>3 単元の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">いろいろな昔話を読んでみたいな。</div> <div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">いろいろな昔話を読んで、お気に入りの昔話を友達に紹介しよう</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">「昔話の本コーナー」にいっぱいあるよ。どの本にしようかな。</div> 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの段階は、1年生だけで行う。2年生との交流を振り返らせ、単元の課題をつかませるようにする。 ・読んでもらった本やその他の昔話を読みたいという意欲が継続するように、教室に「昔話の本コーナー」設置し、紹介する。 ・お気に入りの昔話や神話・伝承を友達に音読で紹介する言語活動を設定することで、意欲をもって読み取り、想像を広げて読むことができるようにする。 ◇昔話に興味をもち、意欲的に読もうとしている。 (発言・お話日記)【興・関・意】

1年 <追究する> 2 / 4

(1) 本時のねらい

友達との交流を通して、読みたい昔話を自分で見付けて読むことができる。

(2) 準備

1年生の教科書 P33 ～ 36 の拡大カラーコピー 昔話の挿絵

おはなしにつき 「昔話の本コーナー」

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)	
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">昔話を読んで、「おはなしにつき」を書こう</div>	3	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P33 ～ 36 に掲載されている昔話の中から、2年生が発表したお話を見付け出したり、他の話を紹介し合うことで、昔話に興味をもてるようにする。
<p>2 昔話について友達と交流し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">2年生が発表してくれた「三年ねたろう」を自分で読んでみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">私は「したきりすずめ」を読みたいと思いました。お話は聞いたことがあるけれど、読んだことがないからです。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">私は、「うさぎとかめ」を読みたいと思います。歌を知っているから、読んでみたいと思いました。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">〇〇さんが話していたお話の続きが読みたくなりました。</div>	15	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P33 ～ 36 の拡大カラーコピーと昔話の挿絵を活用することにより、読みたい昔話を見付けることができるようにする 話の内容を知っている児童に発表させたり教師が簡単に説明することで、読みたい昔話を見つけることができるようにする。 読みたい話を発表する際は、選んだ根拠とともに伝えさせ、読もうとする意欲を高めることができるようにする。 <p>◎決めかねている児童には、教科書 P33 ～ 36 に掲載されている昔話を示し選書しやすくする。</p>
<p>3 昔話を読む。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">2年生が読んでくれた本があるよ。自分でも読めるかな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">「ぶんぶくちやがま」って、上毛かるたに出てくるよ。どんなお話かな。読んでみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">〇〇さんの読んでいる本がおもしろそうだな。次、借りて読もう。</div>	25	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P33 ～ 36 に掲載されている昔話の本コーナーを教室内に準備しておくことで、読みたい本を自分で見付けて読むことができるようにする。 学級文庫や図書室の本の他、公立図書館からの団体貸し出しを利用し、人数分以上の本を準備することで、児童の選択の幅を広げる。 <p>◎読みたい本が見付からない児童には、「昔話の本コーナー」で一緒に本を手に取りながら探すことで、見付けられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1冊読み終えるごとに「おはなしにつき」に記入させることで、友達に紹介する本を選ぶ際に活用できるようにする。 <p>◇昔話に興味をもち、読みたい昔話を見付け、読んでいる。(発表・お話日記)【興・関・意】</p>
<p>3 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">「昔話コーナー」の本をもっと読みたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">図書室に行って、昔話を借りて読もう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">友達に教えてあげるのが楽しみだな。</div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	2	<ul style="list-style-type: none"> 朝活動の時間や「読書の時間」などを活用し、昔話を読み、「おはなしにつき」の記入を進められるようにする。

(1) 本時のねらい

好きな昔話の好きな場面の音読を友達と交流することで、好きな場面の様子を想像を広げて読むことができる。

(2) 準備

「昔話の本コーナー」

おはなしにつき

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応		指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>友達に紹介する昔話を選び、音読の練習をしよう</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 今まで読んだ昔話の中から選べるように、「おはなしにつき」を準備しておく。
<p>2 友達に発表する昔話を選び、音読の練習をする。</p> <p>お気に入りポイントを三つ付けた作品にしよう。</p> <p>「かさじぞう」のまぶしいお宝が積み上げられているところを読もう。あったらいいなと思ったことを伝えよう。</p> <p>「ぶんぶくちやがま」が「あちっちあちあち」という場面にしよう。面白い感じが伝わるように読めるといいな。</p>	17	<ul style="list-style-type: none"> 「おはなしにつき」につけたお気に入りポイントを参考にすることで、発表する昔話を一つ選ぶことができるようにする。 ◎音読する範囲を、選んだ昔話の特に好きな場面のみでの発表と限定することで、練習の負担を減らし、音読練習の時間を十分確保できるようにする。
<p>3 友達と交流する。</p> <p><発表の仕方の例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ぼくの・わたしの おきにいりのほんは、 『 』です。</p> <p>なぜかというと、 ○○○○のところ が すきだ おもしろい からです。 たのしい</p> <p>とくにすきなばめんを おんどくするので きいてください。</p> </div> 	20	<ul style="list-style-type: none"> 3～4人のグループになり、個々に自分の選んだ昔話を発表させることで、全体の前での発表に向けて自信をもてるようにする。 ◎発表の仕方の例を示すことで、全員が自信をもって発表できるようにする。 発表には「おはなしにつき」に記入した「思ったこと」を活用できるようにする。 ◇お気に入りの昔話の特に気に入りの場面をグループの友達に発表している。 (発表・お話日記)【読むこと】
<p>4 本時の学習を振り返り、発表への意欲をもつ。</p> <p>みんなにも「ぶんぶくちやがま」の面白さが伝わるといいな。</p> <p>みんなは、どんな昔話が気に入ったのかな。発表が楽しみだな。</p> 	5	<ul style="list-style-type: none"> グループの友達への発表を賞賛することで、次時でのクラス全体への発表に自信をもって臨めるようにさせる。

1年 <まとめ> 4/4

- (1) 本時のねらい
お気に入りの昔話を友達に音読で紹介することができる。
- (2) 準備
選んだ本
2年生へのお手紙用紙
- (3) 展開

学習活動 予想される児童の反応		指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">お気に入りの昔話をクラスの友達に紹介しよう</div>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との交流を位置付け、個々に選んだ昔話のお気に入りの部分の音読発表をしようことで、いろいろな昔話に触れ、感じ方の違いに気付いたり、読みを深めたりできるようにさせる。
<p>2 お気に入りの昔話を音読で紹介し合う。</p> <div style="text-align: center;">  <p>興味をもってくれるといいな。</p> <p>〈発表の場〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>発表グループ 3～4人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 100px;"></div> </div> <p>—聞き手—</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">○○さんの選んだ場面はおもしろいな。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">○○さんが音読してくれた昔話を読みたいな。</div> </div>	30	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に交流したグループごとに前に出て順番に発表する形態とすることで、見通しをもって発表に臨めるようにする。 ・聞き手同士の顔が見えるような机の配置とすることで、友達の発表をみんなで聞き合える雰囲気を作れるようにする。 ・児童が音読した部分を全員で音読させたり、挿絵を紹介したりすることで、聞き手が集中して聞けるようにするとともに、常に叙述を意識させるようにする。 <p>◎発表の仕方を示した定型文を掲示しておくことで、安心して発表できるようにする。</p> <p>◇お気に入りの昔話の特にお気に入りの場面を音読で紹介している。 (発表・お話日記)【読むこと】</p>
<p>3 単元のまとめをする</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>2年生のお兄さん、お姉さんへ 音読を聞かせてくれてありがとう。ぼくは、2年生が読んでくれた「かさじぞう」が好きになり、自分でも読んでみました。他にも、昔話の本を5さつ読みました。 ぼくは、「うらしま太郎」の本をみんなに紹介しました。お土産の箱を開けたら、おじいさんになってしまったところがびっくりしたからです。 ぼくの発表の後、みんなで「うらしま太郎」の歌を歌いました。 これからも、いろいろな昔話の本を読みたいです。</p>	12	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」過程で、音読発表をしてくれた2年生に、自分たちの音読発表での活動を報告する手紙を書くことで、学習を振り返るようにする。